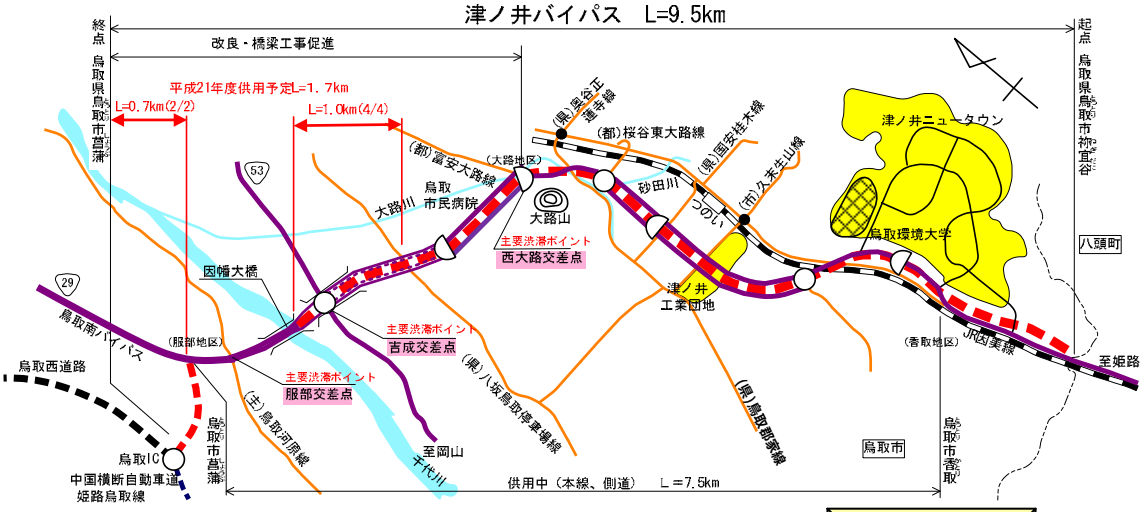
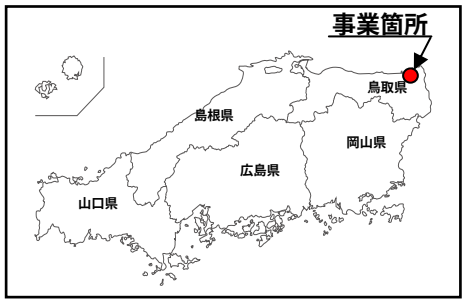
事業費 630百万円

一般国道29号　津ノ井（つのい）バイパス

津ノ井バイパスは、一般国道29号の鳥取周辺の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、鳥取市祢宜谷から鳥取市菖蒲に至る延長約9．5kmの道路です。平成12年度までに、鳥取市香取から鳥取市菖蒲間（延長約7.5km「本線・側道部」）が開通しています。

平成21年度は、吉成交差点の立体化を含む鳥取市宮長から鳥取市叶間1．0kmを7月に、鳥取ICアクセス部分である鳥取市菖蒲から鳥取市服部間0．7kmを姫路鳥取線の供用にあわせて開通を目指します。





現道状況

吉成交差点から因幡大橋を望む

工事進捗状況

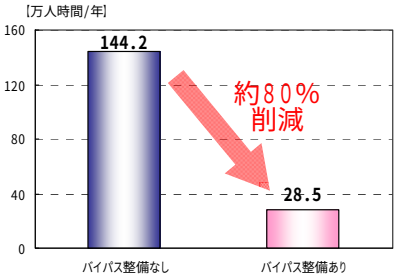
吉成交差点「西方面」を望む

期待される整備効果

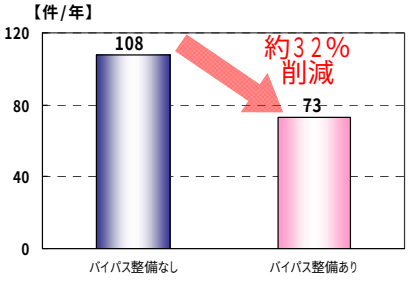
効果1）『交通渋滞の緩和』

国道29号の鳥取市周辺では、著しい交通渋滞が発生しています。本線の高架化、交差点の立体化、現道拡幅により、交通渋滞の緩和が期待されます。

渋滞損失時間の削減量



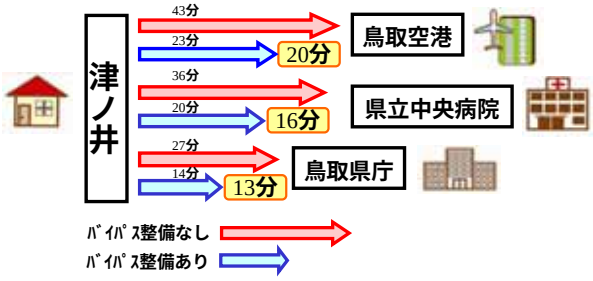
死傷事故件数の削減量



※渋滞損失時間・死傷事故件数は、H42年の交通量推計結果をもとに、津ノ井バイパス整備有無のケースでの交通量、旅行速度を用いて試算

効果2）『所要時間の短縮』

津ノ井バイパスの整備による交通渋滞の緩和により、津ノ井ニュータウンから第三次医療施設である県立中央病院及び鳥取空港へのピーク時の所要時間が短縮されます。



※道路交通センサス(H11,H17)ピーク時旅行速度より算出